

2020年12月2日

デイキャンプ・キャンプ参加者各位

神戸YMCAキャンピングサービス
チーフディレクター 阪田 晃一

新型コロナウイルス感染症流行時のキャンプ参加のリスクと対策のお願い

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は世界中で流行が続いています。その中でも日本をはじめとする東アジア諸国では、感染の拡大が著しい欧米と比べ、比較的感染リスクが低いという事実がありますが、中国、韓国に比べ1.5倍～5倍ほど感染者数、死者数が確認されています。厚生労働省の10月のレポートによると、国内の感染者は20歳代が最も多く、重症化リスクは30歳代を1としたときに、40歳代で4倍、50歳代で10倍、60歳代で25倍、70歳代で47倍、80歳代以上で71倍以上とされており、20歳代では0.3倍、10歳代で0.2倍、10歳未満で0.5倍とされています。また重症化のリスクとなる基礎疾患は慢性腎臓病、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満とされています。

神戸YMCAキャンピングサービスセンターでは、2020年7月より感染症対策を講じた上でキャンプ事業を再開しておりますが、平時ではリスクにならないことがリスクになる可能性があります。つきましては新型の感染症流行期にキャンプに参加することのリスクを認識した上で、ご参加いただきますようお願いいたします。

難しい時期ではございますが、こんな時期だからこそ信頼関係をベースに、感染症対策を講じた上で、「キャンプ体験の提供を止めない」をスローガンに、キャンプ事業を続けて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

新型感染症流行時の活動リスクについて

野外での活動は通常「リスク」を伴います。リスクとは一般に、「将来に起きる可能性のある良くないこと」のことであり、リスク＝危険ではありません。通常の野外活動でも、内在するリスクをコントロールすることによって、安全な活動を行うことができ、貴重な経験や成長という成果を得ることがあります。

現在は新型の感染症流行期のため、通常のリスクに加え、下記のようなリスクがあることをご理解の上、ご参加ください。

1. 参加者のリスクについて

通常の野外活動におけるリスクとして、

1. 参加者自身の免疫低下の可能性ががあります（疲労や冷えによる）。
2. 怪我などの傷病のリスクがあります。

通常のリスクに加えて、

1. 怪我などの傷病によって病院を受診する可能性があり、感染リスクが通常より高い場所に行く可能性があります。
2. キャンプ開催地の感染状況、医療機関のキャパシティ状況により、病院を受診できない場合があります。

2. 参加によるリスクについて

新型コロナウイルスは未発症または軽症でもウィルスの媒介者となる可能性があるとされています。同居の方に重症化リスクのある方がいらっしゃる場合、ご自宅で有効な予防策が取れない場合、感染のリスクが高くなります。